



<http://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和2年10月



甘藷「シルクスweet」栽培の山下義博・まり子さん夫妻(西原村)＝撮影:西村恭兵

■今号16ページ 主な内容

- 令和2年産「阿蘇コシヒカリ」出発式
- 献上米の「抜穂祭」行われる
- JA職員、豪雨災害復旧を支援
- 生産各部会の生育・出荷・総会等の情報
- 集落営農連絡会で「スマート農業」実演
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.
今号も話題と情報を満載!!



● 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

令和2年産「阿蘇コシヒカリ出発式」 安心安全なお米を消費地へ!



JA一丸となり米を守る必要
次年度に向け圃場の徹底管理を

J A阿蘇は9月10日、阿蘇町カンントリーエレベーターで令和2年産「阿蘇コシヒカリ出発式」を行いました。

当日はJ A関係者をはじめ阿蘇地域振興局、熊本パルライス(株)、配送業者の熊本くみあい運輸(株)などから約100名が出席しました。

新米の出発に先立ち、J A阿蘇の伊藤照行農産課長より令和2年産の作付け状況や初検査の結果など、概況報告が行われました。

出発式では原山寅雄組合長が「今年度はトビイロウンカによる被害が危惧されている。現段階から農薬の成分や価格の検討をしなければ、来年度の作付けに影響を及ぼす。J Aグループ一丸となって米を守っていくことが必要だ。配送を行う熊本くみあい運輸さんには交通ルールを守り、安全に阿蘇の米を消費地に届けていただきたい」と力強く挨拶しました。

挨拶後、関係者らによるテープカットが行われ、令和2年産米を満載した熊本くみあい運輸のトラックが出発し初出荷を祝いました。式終了後、おにぎりの試食会が行われ、新米の味を出席者全員で味わいました。出席者の一人は「新米のおにぎりは米本来の味がとても美味しい」と笑顔をかべていました。(写真右上は挨拶を行う原山組合長、同左は関係者によるテープカット)



昨年特Aランクに輝いた阿蘇コシヒカリ



出発式に出席した関係者の皆さん



新米のおにぎりを試食する関係者の皆さん



組合長より委託された新米を積み込み、黄金色の稲田の中を出荷先に向かう熊本くみあい運輸トラック



安全祈願祭の一コマ



挨拶をする中西稲作部会長



挨拶をする原山組合長

**新米収穫・出荷の安全を祈願
令和2年産米初検査、全量1等米**



初検査を行うJA阿蘇の橋本検査員

初検査では583袋の阿蘇コシヒカリ(特別栽培米)の水分や粒張具合などを橋本検査員が検査し、全量が1等米となり、令和2年産米出荷の幸先の良いスタートとなりました。

挨拶の中で原山寅雄組合長は「管内でも農機具の事故等が発生している中、大変忙しくなる時期で事故等には十分注意されて作業に携わっていただきたい」と、農作業中の安全を再度確認するように要望しました。

一方、中西洋介稲作部会長も「毎年災害等が起きる中、心配しながら生産作業を行い、今年もどうか収穫時期を迎えることが出来た。的確な検査を行って、阿蘇産米のブランド定着化に向けて販売を行っていただきたい」と抱負を述べました。

JA阿蘇は9月10日、阿蘇コシヒカリ出発式に先立ち、JA職員や検査員など関係者約80名が出席して安全祈願祭並びに令和2年産米の初検査を行いました。安全祈願祭では米の入庫に伴う仲仕や検査員、配送業者への安全を祈願しました。



**阿蘇市献穀事業推進協議会
新嘗祭献上米の抜穂祭を執り行う**

JA阿蘇を含めた阿蘇市献穀事業推進協議会は9月13日、阿蘇市山田にある献穀田で阿蘇市献穀事業である新嘗祭に献上する米を刈り取る抜穂祭(ぬきほさい)を執り行いました。

今回の献穀は、阿蘇市山田地区の



厳かに執り行われた抜穂祭の様子

大田黒元吉・祥子さん夫妻が執り行います。献上される米はコシヒカリで台風9号及び10号の影響もなく、まずまずの出来であるとのこと。

大田黒元吉さんは「まだ作業が続くので献上するまでは気を抜かず頑張りつていきたい」と話していました。

収穫された献上米は11月23日の新嘗祭に献穀される予定です。



熊本豪雨からの早期営農再開に JA阿蘇地元職員ら復旧を支援 小国郷営農センター

小国郷管内では7月7・8日の熊本豪雨により、農作物に甚大な被害を受けました。

小国郷営農センターでは7月下旬、同管内の災害復旧支援活動を2日間に行いました。

支援活動には新型コロナウイルスの影響もあり、JA阿蘇の地元職員ら延



写真はいずれもハウス内や水路の土砂撤去作業を行うJA阿蘇職員ら

べ30人が参加し、土砂崩れが起きたハウスや水路の土砂の撤去作業を行いました。重機等の使用が不可能な箇所での作業となるため、土砂の撤去はほとんどが人力での作業となりました。

作業を依頼した麻生正美さんは「この被害を受けた」時期に収入が絶たれるということは、今後の営農に大きな影響が出てきて農業が続けられないのではないかと心配していたところJAから支援の声をかけてもらい、復旧作業に来て

もらって本当に助かった。感謝の言葉しかない」と話していました。

今回の熊本豪雨による小国郷管内の被害は土砂崩れ関係の被害が700a（7町）と8割を占め、青果物の被害件数7月18日現在約50件、面積850a（8町5反）、被害額は4500万円を上回るものとみられています。

一方、水田の被害も深刻でまだ調査に入っていない所も多数あり、また畜産関係の被害も発生しており、今も復旧作業（取材時）が続いています。





小国町西里地区で 原木しいたけ活着調査 生育状況を把握し生産向上につなげる



県内有数の原木しいたけ産地である小国町西里地区で7月中旬、原木しいたけの活着調査が行われました。

調査には熊本県阿蘇地域振興局や県椎茸農業協同組合、森産業(株)、JA阿蘇職員ら約20人が立ち合い、原木の状態や菌系のまん延状況等の確認を行いました。

JA阿蘇管内の原木しいたけは、組合員が生産する中で森産業など企業が駒を提供し、椎茸農協とJAとの情報共有など、生育状況を細かく把握しながら生産の向上を目指しています。

このような情報の共有や調査活動を含めるJA阿蘇の取り組みは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」にもつながっており、自治体や他

の協同組合・企業と連携し、さらに安定的な農産物が持続的に提供できるよう努めています。

当日は今年2月から4月の間に駒打ちをした原木内部の菌の状態を確認しました。今年は例年より雨量が少なく、菌系の伸びはまずまずでしたが、6・7月は降水量と日数ともに例年を上回っており、これからの菌系の伸びに期待がされています。

7月、8月の作業としては高温期に入るため、風通しが良い涼しい環境になるように伏せ込み、周辺の草刈りを行ったり、直射日光が当たらないように笠木の補充・点検を行うことなど、今後の対策方法についても取り組んでいくことなどを関係者で確認しました。

(写真右側 原木の状態を確認する関係者)

JA阿蘇花卉生産協議会が発足 管内の10生産部会が 合同出荷を行い更なる所得向上をめざす



JA阿蘇花卉生産協議会設立総会の様子と就任挨拶をする白石会長

花卉生産者・行政・市場関係者ら約50人が出席して7月17日、阿蘇市内でJA阿蘇花卉生産協議会設立総会が開かれました。

同協議会設立の目的は、これまでになかった管内10部会での地域枠を超えた生産出荷協議を行い、出荷段階での規格統一化や物流改善によるコストの低減、さらには関東・関西圏への合同出荷を行うことにより一層の所得の向上を目指そうというものです。

同協議会会長に就任した白石豊和さんは挨拶の中で「本年度はコロナ禍

により花卉情勢は逆境下にあるが、生産者全員で諦めない生産を行って行きたいこと、設立への意気込みを述べました。当日は各地区の営農指導員より各部会の紹介や生産状況の報告もあり、市場関係者へ管内花卉生産のアピールを行いました。

市場関係者は「今回の協議会設立により、JA阿蘇管内の花卉生産動向が把握できて非常に喜ばしい。販売情勢は厳しい年だが、シーズン最後までしっかりと販売したい」とエールを送りました。



2020年産イチゴ花芽検鏡 例年通りの花芽分化を確認

J A阿蘇管農部では2020年産イチゴ定植を前に花芽検鏡が8月25日よりスタートしました。

本年産は高温による影響もなく、病害虫発生も少なかったため苗の生育は良好です。

9月以降の朝晩の冷え込みで、例年通りの花芽分化を確認。台風10号の影響も心配されましたが、無事9月8日から定植が始まりました。

本年度産のJ A阿蘇管内イチゴ生産者は43戸(前年比98%)、面積11.4ha(同101%)の見込みとなっています。



品種は、さがほのか(23%)・ゆうべに(20%)・恋みのり(57%)の割合となっており、出荷数量は約192万パックを見込んでいます。

江藤秀晃専任指導員は「苗の充実不足が心配されたが、早期の採苗・施肥管理を行い充実した苗の生育となった。今後は定植後の活着や2番花分化までの肥培・温度管理が重要になってくる。また育苗後半から定植後までの防除・施肥管理に重点を置き、年内収量確保が出来るように併せて指導していく」と意気込みを語っていました。

(写真上Ⅱ花芽検鏡の様子)

イチゴの定植最盛期 年内収量増に期待 出荷開始10月下旬頃を予定

J A阿蘇管内では9月8日よりスタートした2020年産イチゴの定植が最盛期を迎えています。

J A阿蘇いちご部会長の天津裕樹さんのハウスでは、恋みのり(86a)を高設栽培で経営しており、9月中旬約7万2000株を定植しました。

天津さんは「苗の出来は良好だ。株の勢いも良く1番花の収量に期待したい」と抱負を語っていました。

江藤秀晃専任指導員は「8月の高温で採苗遅れや苗の萎れが一部発生した



(写真は定植作業を行う
農業研修生/9月11日撮影)

が、大きな影響はなく例年並の花芽分化を確認出来ているので、今後は栽培管理・病害虫防除を重点指導し、シーズンを通して安定した生産が出来るように目指したい」と語っていました。

出荷開始は10月下旬頃が予定されており、主に関西地方市場を重点に出荷が行われる計画です。





**JA阿蘇いちご部会の
園田賢臣さん
佐藤哲治さん
大津裕樹さん
栽培・販売功績称え表彰**



JA阿蘇は7月30日、本所で令和元年産のいちご部会の総会にあたり表彰を行いました。

表彰を受けたのは同部会の園田賢臣さん、佐藤哲治さん、大津裕樹さんの3人です。3人にはいちご栽培並びに販売の功績を称え、JA阿蘇より表彰状の授与と賛辞が贈られました。表彰を受けた3人は「JA阿蘇産の



いちご栽培の益々の発展と更なる活躍を願い、生産者の力になれるようJAともより一層の連携を図り、取り組みを続けていきたい」と抱負を語っていました。
(写真上||右から園田賢臣さん、佐藤哲治さん、大津裕樹さん/写真右||表彰の様子)



**南部LPGガスセンター
マッチレースで最優秀賞を獲得**



主催者から南部LPGセンターに贈られた表彰状

JA阿蘇南部LPGガスセンターは、6月22日に行われた令和元年度熊本県JA・LPGガス販売所マッチレース（JA熊本経済連等主催）で、741ポイントの実績をあげ、第1位の最優秀賞を獲得しました。

このマッチレースはJA・LPGガスの販売事業拡大と業績評価指標に基づく運営管理を実施し、実績向上を図ると共に、優良事例の共有化を促進する目的で毎年開催されています。

マッチレースは県下21販売所を対象に、令和元年4月から同2年3月までの12カ月間の6コースで順位を競いました。JA阿蘇管内からは3LPGガスを

**最優秀賞の南部LPG
表彰式を本所2階で行う**

センターがエントリーしました。マッチレースでは新規顧客の獲得やガス器具拡販、保安管理を含めた活動結果をポイント換算して、南部LPGガスセンターをはじめ上位3販売所が表彰されました。
原山寅雄組合長は「今後もガス供給を含め、購買事業のより一層の充実を図り、取り組んでいきたい」と喜びを語っていました。



最優秀賞の南部LPGセンター表彰の様子

令和元年度熊本県JA・LPGガス販売所マッチレースで、最優秀賞を獲得した南部LPGガスセンターの表彰が7月21日、本所2階で行われました。



地域営農法人の連携強化へ報告会 ドローンやロボット草刈り機など スマート農業の実演も行う

阿蘇地域集落営農連絡会は8月27日、管内法人を対象に事業報告会と農機具の実演会を開催しました。

当日は法人関係者の他、J A阿蘇や阿蘇地域振興局、(株)クボタなどから約80名が参加しました。

本来、連絡会は総会として毎年開催していましたが、新型コロナウイルスの影響などから屋外にて報告会として開催されました。



報告会で挨拶を行う佐楢見会長

報告会では、昨年度新たに設立した6法人を含めた14法人の代表者から経営状況や作付け規模などの報告がなされ、情報の共有が行われました。

阿蘇地域集落営農連絡会の佐楢見真一会長は「高齢化が進み担い手が減少していく中、営農法人が阿蘇地域の農業を担っていく必要がある。法人間でも連携して機械等の共同利用を行い阿蘇の農業を守っていかなければならない。今後の課題点として、法人を設立したが中山間地域における雇用の中では、国や県から助成などで後押しをしていたただかなければ、このままでは衰退しかねない」と訴えました。

報告会后、クボタによる除草剤散布を行うドローンのデモンストラーション飛行や、畦畔管理作業におけるロボット草刈り機などの実演会が行われました。参加者は機械の性能や効率化に興味を示していました。

ある参加者は「とても便利な農機具だ」と思う。しかし価格の面においてJ Aや国や県などから援助をしていただかないと、新設した法人への導入は厳しいのではないかと期待感と不安感をもちしていました。



写真左上はドローンのデモ飛行を見学する参加者／写真右上はラジコン草刈り機の実演／写真下は草刈り機の使用や操作方法を受ける参加者





KAB「伴都美子とAgri de キッチン」

西原村 山下義博・まり子さん夫妻の「シルクスweet」

9月28日、「伴都美子とAgri de キッチン」の番組撮影が行われている西原村の山下義博・まり子さんご夫妻を取材しました。山下さん夫妻が作っているのは甘藷の「シルクスweet」です。

山下さんは10年前に脱サラ後就農、西原村でブランド化を進めている「シルクスweet」を苗作りから出荷まで愛情を込めて生産しています。

甘藷の栽培には、西原村独特の赤土と気候が生育に適していて、シルクスweetはしっとりとした口当たりでスイーツのような上品さを持った甘さが特長です。甘藷は収穫後、貯蔵庫で寝かせることで糖度が増してさらに美味しくなります。



秋の味覚の代表でもあるこの極上食材シルクスweetを使って、伴さんらは「ポテトサラダ」を作る予定です。

今回撮影した内容の放送日は11月13日(金)19時54分からKABで放送されます。また料理回は11月20日(金)19時54分からの放送予定となっています。

皆さんの食欲をそそる番組内容となっていますので、お見逃しなく是非ご覧ください。

カメラに向かってシルクスweetを紹介する山下さん夫妻



やや緊張気味の義博さん…
カメラの前でもリラックスした様子の
まり子さん (^.^)



収穫の様子も
ばっちりカメラに
収めました (^.^) /



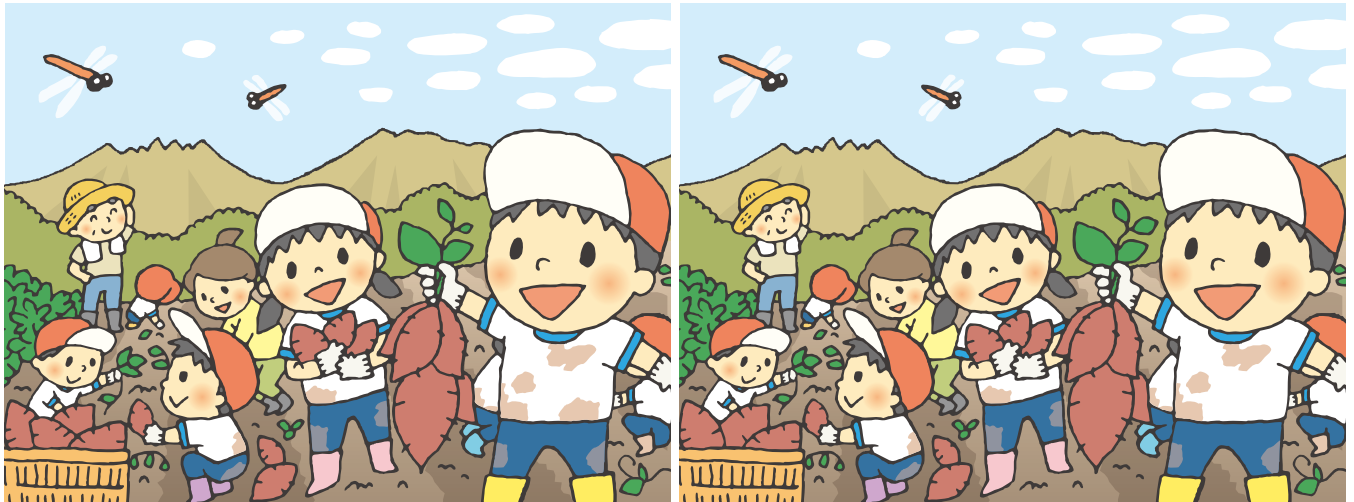
貯蔵庫で寝かせると
さらに美味しく
なります (*^-^*)



JA阿蘇 イラスト違い探し 『芋ほり遠足』

左右2枚のイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!

(出題:イラストレーター みやたまゆき)



イラスト違い探し 『芋ほり遠足』 応募方法

上の「芋ほり遠足」イラストの5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。正解者の中から抽選で5名様に写真(イメージ)の「甘藷5kgセット」をプレゼントします。

応募の締め切りは11月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「バーベキュー」の答えとプレゼント当選者8名様



安達 佐代子 様 (小国町)
 来島 好美 様 (山都町)
 河津 テル子 様 (南小国町)
 安藤 喜代美 様 (高森町)
 森 京子 様 (阿蘇市)
 奴留湯 巧 様 (小国町)
 いじまきいち 様 (阿蘇市)
 じんないまさたか・よしたか 様
 (熊本市南区)

= 答え =

- ① 椅子の上の鳥
- ② 犬の舌
- ③ 女の子の髪
- ④ 右の雲の形
- ⑤ 皿の数



ハガキ (表)

8692612

阿蘇市一の宮町官地387・5

JA阿蘇 総務部

「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望
(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他

「JA阿蘇きらり」



甲斐 かい

美鈴 みすず

高森中央支所金融共済課

★趣味 農業や動物にすごく興味を持っています。色々なものや機会に触れ、これから自分の中で趣味を見つけていきたい。たまに飲むお酒もリフレッシュできる至福の時間でもあります。

★一言コメント 今年で金融窓口を担当して6年目になりました。これからより一層、組合員さんとの会話や信頼関係を築いていきたいです。いつも笑顔を大切に仕事頑張っていきたいと思います。

ビニールなどが飛来して停電事故を起こします！

農業用ビニール等は、強風で飛ばされないようにしてありますか？

※作業時だけでなく、設置後も注意が必要です。

「このくらい離れていれば飛んでも送電線には引っ掛からないだろう！」といった思い込みは禁物です。

万一、送電線へ農事用ビニール・防雀テープ等が引っ掛かってしまった場合は、触らずに九電ハイテックへご連絡をお願いします。



送電線は非常に電圧が高いため、ビニール・防雀テープ等が引っ掛かった場合は、**大変危険です！**絶対に触らないで、九電ハイテックに連絡して下さい。



九州電力送配電
熊本支社

<連絡先>

㈱九電ハイテック 熊本支社 送電グループ
TEL 096-386-2259
熊本市中央区上水前寺一丁目6番36号

全ての農産物を対象に、自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償します。「収入保険」

<p>自然災害や病虫害、鳥獣害などで収量が下がった</p>	<p>市場価格が下がった</p>	<p>災害で作付不能になった</p>	<p>けがや病気で収穫ができない</p>
<p>倉庫が浸水して売り物にならない</p>	<p>取引先が倒産した</p>	<p>盗難や運搬中の事故にあった</p>	<p>輸出したが為替変動で大損した</p>

※本紙12頁に「収入保険加入促進セミナー」の参加費無料のご案内を掲載しています。

参加費無料

収入保険加入促進セミナー

平成31年1月から農業経営全体を対象とした「収入保険」がスタートしました。
この収入保険は、原則全ての農産物を対象に、近年増加している自然災害だけでなく農産物の価格低下による収入減少も補填する制度です。
そこで「収入保険」の周知と併せて、簿記記帳と青色申告制度への普及・推進を図るため「収入保険加入促進セミナー」を開催します。

●以下の3会場の中で、ご都合の良い場所を選んでご参加下さい。

県南会場

令和2年10月1日(木)
(13:30~15:30)

ウイングまつばせ 視聴党室
(宇城市松橋町大野 85)

県北会場

令和2年11月6日(金)
(13:30~15:30)

県立農業大学校 研修交流館2階
会議室 (合志市栄 3805)

県央会場

令和2年11月26日(木)
(13:30~15:30)

グランメッセ熊本 2階大会議室
(上益城郡益城町福富 1010)

【内容】

① 収入保険について 説明者：熊本県農業共済組合本所
(収入保険と既存制度(農業共済等)との制度の比較、掛金や補填金、つなぎ融資等)

② 収入保険加入者の声
(加入のきっかけや制度の利点等)

③ 青色申告における複式簿記の必要性和活用方法について 講師：税理士 久保寺 恵子氏
(簡易簿記と複式簿記の違い、複式簿記の税制上のメリット、簡易簿記だけではわからない経営状況の具体例、複式簿記の始め方等)



久保寺 恵子氏

●セミナー終了後、収入保険について個別相談を希望される方は、農業共済組合担当者が対応致します。(事前予約制)

【対象者】 収入保険の加入を検討されている農業者、県、市町村、JA、農業共済組合等の関係職員等

●参加を希望される方は、以下の欄にご記入の上、FAX(096-385-1468)等で開催日の7日前までにお申し込み下さい。

氏名	フリガナ		フリガナ	
	①		②	
参加会場	※参加を希望される会場に○をつけて下さい ■県南会場(10月1日) ■県北会場(11月6日) ■県央会場(11月26日)			
申告方法	※令和元年分の所得税の申告方法について、以下の①~④のいずれかに○をつけて下さい ①白色申告 ②青色申告(単式簿記 10万円控除) ③青色申告(複式簿記 65万円控除) ④その他			
個人相談の希望	※収入保険について個別相談を希望される方のみ、相談内容をご記入ください。			
連絡先	住所	〒		
	TEL	FAX	携帯	
	メール			
備考				

●参加申込書に記載頂きました個人情報の利用に関しては「個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)」を遵守して適正に管理するとともに、目的外には使用致しません。

主催：一般社団法人熊本県農業会議 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 県庁本館9階
☎096-384-3333 FAX096-385-1468 Mail 43ninaite@nca.or.jp

理事会・監事会報告

■令和2年度第8回理事会

日時 令和2年8月31日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - 7月末実績報告について
 - 1) 地域復興応援資金の新設について(案)
 - 2) 農機具ローン(オリコ保証)の新設について(案)
 - 3) JA農業経営維持継続資金(危機対応)の新設について(案)
 - 4) 貸出金について
 - 5) 個人情報保護及び情報セキュリティ体制について(案)
 - 6) 令和2年産米概算金について(案)

報告事項

- 1) 令和2年度外部監査・外部検査の受入について
 - 2) 令和2年度上期決算棚卸監査実施要領について
 - 3) 令和2年度上期決算棚卸休業日について
 - 4) 令和2年度夏の農機自動車展示会実績について
 - 5) JAバンク報告「経営管理資料」について
 - 6) 県域ローンセンター媒介業務実績(四半期報告)
 - 7) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング」報告について
 - 8) ATM利用状況(7月末)
 - 9) 令和2年度余裕金運用状況(令和2年7月末)について
 - 10) 自主検査結果報告(令和2年5月)について
 - 11) 不祥事再発防止策取組状況(令和2年7月末)報告について
4. 閉会

■令和2年度第9回理事会

日時 令和2年9月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項
 - 委員会報告(経済専門委員会)
 - 8月末実績報告について
 - 1) 貸出金について(3件)
 - 2) JAバンクローン等にかかる災害緊急特別対策利子補給実施要領(熊本県版)等の制定について(案)
 - 3) 支所運営委員の承認について

報告事項

- 1) 令和2年度米麦等棚卸監査報告書について
- 2) 令和2年度上期決算監事監査日程について ↗

- 3) CCS定期確認該当件数について(三次認定)
 - 4) 2020JA阿蘇総合展示会実施要領について
 - 5) 第1回アグリイノベーションフェア開催要領について
 - 6) 自主検査結果報告(令和2年6月・7月)について
 - 7) 台風10号被害状況について
 - 8) 令和2年産米概算金決定について
4. 閉会

●令和2年度第6回監事会

日時 令和2年8月21日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 令和元年度決算監事監査回答書について
 - 2) 令和2年度米麦等棚卸監事監査報告書(案)について
 - 3) 令和2年度上期決算棚卸監査要領(案)について
 - 4) 令和2年度上期決算監事監査日程(案)について
 - 5) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち農林中金が定める事項並びに「体制整備モニタリング」報告について

報告事項

- ①常勤監事業務報告について
 - ②常勤会議等報告について
 - ③令和2年度上期監事研修会の開催について
 - ④外部監査・外部検査の受入について
 - ⑤行事予定について
4. 閉会

●令和2年度第7回監事会

日時 令和2年9月25日午後1時30分

場所 本所2階第1会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 令和2年度上期決算棚卸監査実施要領について
 - 2) 令和2年度上期決算監事監査日程について

報告事項

- ①常勤監事業務報告について
 - ②常勤会議等報告について
 - ③みのり監査法人「監査計画概要説明書」について
 - ④行事予定について
4. 閉会

●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ ●●●

●辞令(令和2年9月1日)

氏名	新辞令	旧辞令
野田 昭子	蘇陽中央支所金融共済課金融共済係	阿蘇南中央支所共済課共済係

●辞令(令和2年9月7日)

阿南喜和子	阿蘇南中央支所購買課長代理(グリーンなんごう) 兼南部地区女性部統括	阿蘇南中央支所購買課購買係(グリーンなんごう) 兼南部地区女性部統括
-------	---------------------------------------	---------------------------------------

●辞令(令和2年10月1日)

松岡 勝也	購買部購買課長兼阿蘇南中央支所購買課長(グリーンなんごう店長)	購買部購買課長
永野 幸雄	購買部葬祭課長兼斎場長	小国郷中央支所購買課長
梅木 賢司	小国郷中央支所購買課長	購買部葬祭課長兼斎場長
筑紫 大輔	金融部貯金融資課融資専任渉外係(阿蘇町駐在)	金融部貯金融資課融資係JAバンク熊本農業金融センター
片倉 洋平	金融部貯金融資課融資専任渉外係(阿蘇南駐在)	阿蘇南中央支所融資課融資係
佐藤 稔	小国郷中央支所購買課購買係長	小国郷中央支所購買課購買係
川崎慎一郎	金融部貯金融資課融資専任渉外係(阿蘇町駐在)	阿蘇町中央支所金融課融資係
松本 克也	一の宮中央支所購買課一の宮給油所係	高森中央支所購買課高森給油所長
秋吉 芳朗	小国郷中央支所購買課長代理	小国郷中央支所購買課購買係
矢津田明大	高森中央支所購買課高森給油所長	高森中央支所購買課高森給油所係

JA CARD

農業
応援!!

JAカード会員さま限定

JAが運営する対象の

購買店舗 ・ 農機・車輛センター 等で

JAカードをご利用いただくと、

+2%ポイント還元!

毎月のショッピング利用でたまる通常ポイントはもちろん、
さらに2%分の還元ポイントがたまります!

※対象外の店舗があります。



対象店舗でのJAカードご利用金額合計の2%相当分を、「JAカード わいわいプレゼント」または「JAカード ゴールドポイントプログラム」のポイントで還元します。たまったポイントは好きな商品と交換できます。

たとえば 対象店舗で50,000円ご利用の場合

$$\text{ご利用額 } 50,000\text{円} \times \text{還元率 } 2\% = \text{還元相当額 } 1,000\text{円}$$

$$\text{還元相当額 } 1,000\text{円} \div \text{1ポイント相当額 } 4\text{円} = \text{還元ポイント } 250\text{ポイント}$$

- 毎月1日～末日の対象店舗のご利用額を合算して、還元ポイント(1ポイント=4円換算)を計算します(小数点以下は切り捨て)。ご利用月の翌々月中旬に還元ポイントを付与します(通常のポイント付与スケジュールとは異なります)。
- JAカードポイントプログラムについて詳しくは三菱UFJニコス JAカード WEBサイト (<https://www.cr.mufg.jp/ja>) をご確認ください。



※JAビジネスカード、JAコーポレートカード、JCBブランドのJAカードは、本特典の対象外です。
 ※JAカード5%割引対象店舗は、本特典の対象外です。
 ※JAカードでのお支払いが対象です。電子マネーやコード決済等でのお支払いは、JAカードを登録されている場合でも本特典は適用されません。
 ※本特典の内容は2020年8月現在のものであり、予告なく還元率の変更や本特典を終了する場合があります。また、店舗により本特典の開始時期が異なる場合があります。

JAカードのご入会、本特典の対象店舗などは、お近くのJAまでお気軽にお問い合わせください。

JA阿蘇

JAカード2%ポイント還元特典 対象店舗

2020 年 10 月時点

店舗名	連絡先
JAグリーン一の宮	【電話番号】 0967-22-3420
グリーンショップやまびこ	【電話番号】 0967-32-4412
JAグリーンなんごう	【電話番号】 0967-62-9780
小国郷購買店舗	【電話番号】 0967-46-3213
西原購買店舗	【電話番号】 096-279-2048
蘇陽購買店舗	【電話番号】 0967-83-0509
高森購買店舗	【電話番号】 0967-62-1230
JA阿蘇産山購買店舗	【電話番号】 0967-25-2311
一の宮農機センター	【電話番号】 0967-22-3855
阿蘇町農機センター	【電話番号】 0967-32-3604
阿蘇オートサービスセンター	【電話番号】 0967-32-2816
南部農機車輜センター	【電話番号】 0967-62-0282
西原農機車輜センター	【電話番号】 096-279-2223
蘇陽農機車輜センター	【電話番号】 0967-83-0534

厚生連ニュース

10月



貧血について



貧血とは

血液中の赤血球に含まれるヘモグロビン（酸素を全身に運ぶ役割）の量が減り、体に十分に酸素を運べない状態のことです

あなたは大丈夫？

健康診断の結果を見て
チェックしてみましょう

検査値		ヘモグロビン
基準範囲	男性	13.1~16.3 g/dl
	女性	12.1~14.5 g/dl

症状

息切れ・動悸

倦怠感・易疲

めまい・ふらつき・
立ちくらみ

体の酸素不足状態が改善されないと心臓に負担がかかります



年のせいなどと思って見逃されやすいこともあります。
症状が続いているときは医療機関を受診しましょう！！

種類

鉄欠乏性貧血

栄養が偏ったり鉄の摂取量が不足する

二次性貧血

慢性疾患・悪性腫瘍・膠原病などに伴う貧血

悪性貧血

ビタミン B12 や葉酸の欠乏

貧血＝鉄欠乏性貧血とは限りません。他の重症な病気が隠れていることもあります。健康診断の結果、精密検査が必要と言われた方は、必ず医療機関を受診するようにしましょう。

鉄欠乏性貧血の予防

食事・・・ヘモグロビンの材料となるタンパク質や鉄分を豊富に含む食品を摂取し、バランスの取れた食事を心がけましょう。

蛋白質：魚や肉、卵、チーズ、ミルク、ナッツ、大豆製品 等

鉄分：**ヘム鉄**（体内への吸収率が高い 動物性食品）レバー・赤身肉・赤身魚 等

非ヘム鉄（体内への吸収率が低い 植物性食品）緑黄色野菜・海藻類

切り干し大根・ごま 等

ビタミンC、蛋白質、カルシウムと一緒に摂取すると非ヘム鉄の吸収がアップします

バランスのとれた食事



赤ワイン・コーヒー・紅茶・緑茶に含まれるタンニンは知らぬ間に鉄の吸収を下げる可能性があります。これらの摂りすぎに注意しましょう！

ご不明な点や健康についてのご相談がある際にはお気軽に本会までお問い合わせください。



JA熊本厚生連健康管理センター

施設所長
粟津 雄一郎

TEL 096 (328) 1256 FAX 096 (328) 1229